平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ５３ ※記入不要	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター

要望問題　落花生収穫機械の開発について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

落花生は、水田の高度利用、あるいは畑作の輪作体系を考える上で重要な作物であるが、年々作付面積が減少している。
その要因として生産者の高齢化とともに機械化の遅れによる労働負担があるものと考えられる。特に、収穫時の堀取りは今なお人力に頼っている面が多く、大きな負担になっている。
そこで、小規模でも導入可能で、かつ低コストな落花生堀取り（脱莢）機械の開発を検討していただきたい。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：生産技術部	
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合）

対応の内容等
収穫関連機械として掘取機、脱莢機、調製機等が既に市販されており、これらの市販機械が利用可能と思われますので、導入を検討する際に現地への適応性や作業性等の調査に協力します。また、市販機械で問題がある場合には課題化について検討します。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	